

<R02-No7 : 基準点測量 : 問題>

次の文は、公共測量におけるトータルステーションを用いた基準点測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 3級基準点測量及びひび基準点測量において新点を設置する場合は、厳密水平網平均計算及び厳密高低網平均計算又は三次元網平均計算により設置された同級の基準点を既知点とすることができる。
ただし、既知点とする同級の基準点の数は、使用する既知点数の分の4分の3以下とする。
2. 1級基準点測量及び2級基準点測量は、原則として、結合多角方式により行うものとする。
3. 観測に使用する機器の点検は、観測着手前及び観測期間中に適宜行い、必要に応じて機器の調整を行うものとする。
4. 新点を2点以上設置する場合の偏心距離は、測点間距離の6分の1以下を標準とする。
5. 観測においては、水平角観測、鉛直角観測及び距離測定を1視準で同時に行うことを原則とする。